

## 大平地域包括支援センター 担当

✚ 日 時： 令和6年9月18日（水）午後1時30分～1時55分

✚ 開催方法： 栃木市役所大平総合支所 第3会議室

✚ 事例数： 1 ケース

✚ 参加者数： 11名

事例提供者1名、助言者7名、包括職員1名、  
傍聴者2名

## パーキンソン病と変形性膝関節症(左右)がある 92 歳女性

〈目標〉1日:体調よく毎日を過ごしたい。

1年:これからも変わらず自宅で生活を続けたい。

利用サービス：訪問介護、軽度生活援助員派遣事業

### 《前回会議での支援策》

支援方針：パーキンソン病があるため、将来を見越した支援を進めていく。

- ① 将来を予測し少しずつリハビリ利用を始めてみてはどうか。
- ② 歯ブラシする時に利き手の腕を固定するのも良い。一定のリズムに合わせて歯ブラシを動かす、電動歯ブラシを使用する方法もある。
- ③ 先に酸化マグネシウムを内服し、2時間空けた食後にパーキンソン病薬を服用すると良い。パーキンソン病の患者とその家族の集まりが保健福祉センターで開催されている。交流のためにそこに参加する方法はどうか。
- ④ パーキンソン病により動き始めにタイミングを取ることが困難なため、大きく身体を動かすことが難しい。タイミングを合わせる運動、身体を広げて両手を合わせる運動が良いと考える。
- ⑤ 振戦があるため、調理時に火傷などの怪我をする可能性があるため、ガスではなく電子レンジを使用した調理を提案してはどうか。
- ⑥ 自治会長に相談し、友愛訪問など受けても良いのではないかと。

### 《支援結果・状況》

#### ①～⑥達成

- ・歯ブラシの方法や工夫など、症状が進行した時の対応方法を理解された。
- ・今のところ内服管理ができており、症状の安定がみられている。
- ・現状グランドゴルフにも参加できており、大きな進行は見られず体を動かすことが出来ている。
- ・電子レンジ調理に切り替える等、安全の確保をするようになった。
- ・グランドゴルフ仲間とのつながりを維持している。何かあれば自治会長への相談も検討していく。